

平成22年度当初予算  
363億8700万円  
平成21年度当初予算  
355億3400万円  
平成21年度最終予算  
385億2400万円

# 10億6千400万の 9月補正予算可決 補正後予算額375億8千900万

## みぞぐち千寿にゆーす

8月31日に開会した9月定例会は、条例議案3件、計画策定議案1件（過疎地域自立促進計画の策定）、予算議案4件（一般会計補正予算第二号、国民健康保険特別会計補正予算等）などが提案、審議され全議案が可決しました。

審議の中心は、一般会計補正予算で総額10億6千400万円の補正が賛成多数で可決した。その主な内容は、地域生活道路整備事業として市道上城内若宮線など32路線の整備等で2億5千4百万、桂林公民館建設1億1千2百万、緊急雇用創出事業（4事業で新規雇用33人）3千3百万、今年度2回目になるプレミアム付商品券の発行事業に要する支援5千4百万等でした（詳細次頁以降）。

### （計画策定議案）議案第98号

#### ・過疎地域自立促進計画の策定

国の過疎地域自立促進特別措置法が6年間延長されたのに伴い新たに6ヶ年の計画を策定するもの。

#### 新たな自立促進計画の概要

##### 基本方針

日田市の掲げる将来都市像「人と自然が共生し、やすらぎ、活気、笑顔に満ちた交流都市」の実現のために、住民と協働でまちづくりに取り組む。

- ①環境にやさしいまちづくり
- ②便利で快適なまちづくり
- ③個性を生かした産業振興によるまちづくり
- ④健やかに安心して暮らせるまちづくり
- ⑤心豊かで輝く人の育つまちづくり
- ⑥市民協働によるまちづくり

※この計画の事業は、国による補助のかさ上げ等があるほか、過疎債の適用を受けた場合、起債額の70%が国からの地方交付税で補填（95～100%）されます。

細次頁以降）。商工観光部に係る事業で、クンチョウ酒蔵活用計画策定事業や、まちづくり会社設立準備事業等、今後の実施に論議を呼びそうな内容もありましたが、計画策定等に関する予算であり、賛成しました。

その他、子どもたちの命を守るため「種々のワクチン」の定期接種並びに無料化を求め

### 好評プレミアム付き商品券 今年度2回目の発行

昨年から実施している約1割の割増金のついたプレミアム商品券は大変好評です。さらに、景気を支えようと今年度2回目が発行されることになり、補正予算で市の補助金5,450万円も承認されました。市内での商品購入に積極的に利用してください。

500円の11枚綴り1冊5,000円  
一人10冊 50,000円まで  
22年10月下旬から23年2月末まで

る意見書の提出に関する請願及び「保険でよい良い歯科医療の実現を求め」意見書の提出に関する請願。さらには、羽野議員（社民クラブ）提出の「非核

三原則の早期法制化を求め意見書」と「保育所・児童入所施設の環境改善を求める意見書」は全会一致で可決されました。

### フラスワン

尖閣諸島での中国漁船による日本の巡視船への体当たり事件での中国の一連の言動を観ると日中国交回復時と同じ国なのかと大きな疑問と憤りを感じる。

国交回復時の基本的な精神は、領土や国力がどんなに弱い国でも、お互いに主権を認め、国交、外交を進めていく「平等互恵」であったが、現在の中国のやり方は、経済的、軍事的な力を背景に強圧的態度を貫く「大国主義」そのものであると感じる。友好的な隣人から非常な敵愾心を持った怖い隣人へと大きくイメージが崩れた。

沖繩の漁師が貴重な漁場を奪われると懸念している。加えてこのことで東アジアの緊張が高まり、沖繩にある「基地」の重要性を廻る世論が再燃し、沖繩の基地問題が大幅に後退するのではと懸念している。解決のため平等互恵の精神で毅然とした外交努力を期待している。



# 市制、商工会議所創立 70周年記念事業白白押し

日田市は今年市制70年、さらに商工会議所も創立70年を迎え、それを記念する事業が数多く予定されています。特に10月、11月に集中しているようですが、お祝い気分が出かけようと考えています。

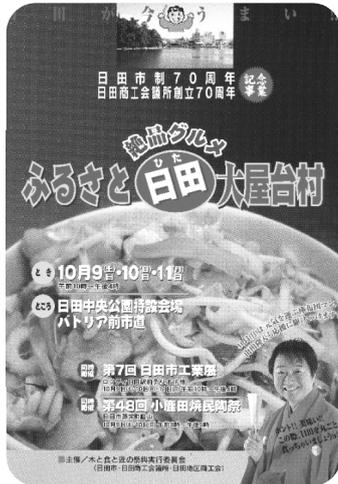
## 「森と文化を未来につなぐ」大会

11月6日 シンポジウム  
7日 植樹祭

今回の記念事業の中で一番期待しているのがこのイベントです。

日田市は森林と林業のまちです。

この林業が振るわないと、日田市の活性化は絶対にありえないと考えています。林業は経済林としてよりも環境林としての機能が見直され、このことが将来、雇用や高い経済性があると指摘されています。今回のシンポジウムでは、京都仏教会理事長の有馬頼底氏や法隆寺管長の大野玄妙氏等錚々たる出場者の話を聞けるのも楽しみです。高瀬小学校の意見発表や日田林工の生徒も参加する意見交換会にも大きな期待を寄せています。将来これに参加した若者が、林業で安定した雇用につながる将来性のある姿を、このシンポジウムの中で描いて貰いたいと強く願っています。



このパンプの行事も楽しみの一つです。配布するところには終わっていると思いきや、いま注目を集めている「焼きそば」や「ひたん寿し」、「日

田どん鍋」等などのグルメと日田の特産品を集めた日田市工業展が一堂に会してのイベントで多くの来場者があると期待しています。

日開催される日田は祭り一色になりそうです。参加した詳細は後日報告します。



## 咸宜園研究センター開館

10月2日「咸宜園研究センター」が開館しました。必要性は以前から取り沙汰されていましたが、これにより日田の先哲「広瀬淡窓」先生の偉業がさらに明らかになり、市民にも親しく知らされると大変期待をしています。また、水戸市や岡山市等と目指している教育施設としての世界遺産登録の推進にも弾みがつくのではないかと考えています。

施設を見学させてもらった時、写真に出ている屏風をみましたがその書の素晴らしさを目を見張りました。解りやすく力強い文字で貫かれ、淡窓先生の精神の雄渾さが偲ばれるものでした。

敷地も広く、ゆったりと出来る場所でもあります。機会があったらぜひ出掛けて下さい。きっと納得すると思います。でも、写真の人は、私の娘にそっくりですね。



## 大蔵永常顕彰事業

日本三大農学者である大蔵永常の没後150年を記念し、作家石川英輔氏の講演会やシンポジウム、「大蔵永常」普及版の再刊等をを行うものです。11月21日を中心に開催されます。70周年事業の一環。

## 中国木材関係者を5名招へい

経済発展が著しく住宅需要が高まっている中国の木材関係者と友好交流を図ることで、日田材の中国での需要を増やそうと11月12日～14日の3日間上海木材行業協会の汪秘書長をはじめ5名を日田市に招へいます。この間に「国際木造エコ住宅博覧会」に日田市の木材関係者が出展し、関係が深まったことによるものです。外交関係が微妙な状況ですが、注目しています。

# マニフェストが政治を変える

9月30日、東京の民主党本部で「第4回自治体議員政策懇談会」があり、大分県から只一人参加してきました。

主な議題は、来年の「統一自治体選挙」に向けてのマニフェストについてでした。既に各地域からマニフェストに反映させる中身の意見やアンケートが集約され、それをまとめる段階での意見交換の場となりました。

会議に先立ち、前三重県知事でマニフェストによる政治改革を推し進めている北川正恭早稲田大学大学院教授（下の写真）の講演がありました。



● 主な内容は、● 昨年の衆議院選挙で政権交代が実現可能なことが証明された。● 現在は改革の出発点にいるが間違えればまた政権が交代することになる。● 従来政治と大きく

変わりがつたあるのは地方主権が叫ばれ、地方政府を創意と工夫で確立することが必要であると認識されたこと。● そのためには、改革を約束するマニフェストが重要であり、そのことが政治改革を進める等でした。その後、各地の委員から現在の集約してい

## 長寿を讃え 会食会と敬老会

9月は敬老の日がある月です。これに合わせて長く長寿を讃える行事が続いている所が多くあります。「むくの木センター」もその一つです。今年も9月8日に、一人暮らしの高齢者の方たちとの会食会が開かれました。また、15日には町内の敬老会もありました。どちらにも共通して言えることは、「面白くて、元気が良い。」と言うことです。宴も一時間位では収まりません。少子高齢化の課題は医療費の増大がその大部分を占めています。この元気を何時までも保ち、そのパワーで日本を救ってほしいと心から願った会でした。



## 市民協働の精神で 楽しく全市一斉清掃日

10月3日は、初めての全市一斉清掃日でした。朝から雨模様でしたが、子どもからお年寄りまで、多くの人々が参加しプールの公園や子どもたちが登校時に



ました。私は、孫の運動会と重なりましたが、気になっていた川岸の雑草をエンヤこらと引き抜く作業に精を出しました。公共の場を一人で掃除するのは結構勇気がいるものですが、皆でやると楽しくできます。楽しめる清掃日だったので、

## 県議選擁立を確認

### 第115回県連常任幹事会報告

9月20日、大分市で開催された民主党大分県連第115回常任幹事会で、懸案となっていた、来年の統一自治体選挙の

県会議員選挙について、県議会連合推薦議員団で結成している会派「県民クラブ」での確認通り、3名区に複数候補者を擁立することが確認された。

その結果、中津、別府で新たに革新系の候補者の擁立が決まっているのに加え、日田、佐伯でも県議候補を擁立することが確認され、今後民主党県連を中心に候補者を選び出すことになった。

● 昨年の政権交代を受け、地方でもその流れを拡大していこうとするもので、情勢を観て1名区や2名区でも擁立する考えも明らかにされた。また、市議、町議選についても一人でも多く候補者を作って闘うことも確認し、必勝に向けた運動を構築していくことが決意された。その他、参議選の間総括が了承された。